

令和5年3月22日

相良村長 吉松 啓一 様

相良村地方創生総合戦略推進委員会

会長 渡邊 知夫

相良村総合戦略第2期令和3年度実績及びKPI評価について（答申）

令和4年11月21日付け相総第894号で諮問のあったこのことについて、令和4年11月29日開催の相良村地方創生総合戦略推進委員会において慎重審議した結果、下記のとおり答申します。

記

1 第2期令和3年度実績及びKPI評価について

(1) 次の事項について意見及び提案します。

【基本目標1：安定した雇用を創出する】

安定した雇用創出	意欲をもって働くことができる環境を整える取組みが必要（働く場の確保、テレワーク、若者に魅力ある農業等の新しい試みにしっかり応援を） 村を出て都会で勉強した若者が村に帰ってきやすい環境を整える必要がある。
----------	--

【基本目標2：新たな人の流れをつくる】

ふるさと納税額	ふるさと納税の返礼品は村外製品の割合が多い。今後も村内の食品以外の製品を含めた商品開発事業を促進し、所得向上につなげること。
空き家バンク登録件数	四浦地区の空き家利活用に関し、交通や買い物などの利便性を懸念する声がある。地域や関係機関と連携し、活用希望者を増やすためのPR活動を行っていく必要がある。

【基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

子育て支援	地元に残ってもらい地域活性化を図るには、若い世代への支援が必要である。他の自治体が行っている有効な支援策を取り入れるなど、本村でも子育て支援の取組みを積極的に行うこと。
出産・子育て支援	少子化に対応し、安心して出産・子育てがしやすい環境を整える取組みが必要。
若い世代の結婚	若者が結婚し、村内で生活ができる環境を整える取組みが必要。
教育の充実	令和2年及び令和4年の洪水により相良北小学校の敷地が浸水被害を受けた。児童生徒の安心安全な学校生活の確保及び環境整備が必要。 児童生徒の減少及び学校施設の老朽化に伴う教育環境について検討を行う必要がある。

【基本目標4：時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る】

消防団員数	消防団員数が減少し地域防災力の低下が懸念される。引き続き、処遇改善を図るなど団員確保に努めること。 行政（役場職員）で積載車を保有した消防団（年齢、性別関係なく）を設置したらどうか。
情報通信施設利用者数	民間への移行等の検討は必要であるが、使用料が高騰しないような検討を行ってほしい。
安全なむらづくりの推進	庁内の関係担当者及び国県等の関係機関・団体と連携し、災害に強い環境を整える（森林環境保全を含む）取り組みが必要。
健康づくり、快適な生活環境整備	高齢者が健康維持し、生きがいを持って生活できる環境（健康寿命延伸）を整えること。現在、保健福祉課や社会福祉協議会、民間施設及び関係団体が行っている事業の拡充や新たな着眼点での事業展開が必要。

【その他】

茶湯里は相良村の地域活性化の拠点施設である。適正な人員確保、施設の衛生管理等の徹底を図り経営改善に努めること。
デジタル田園都市国家構想の「どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」について、画一化した便利さを求めるのではなく、相良村の他にはない良さ（歴史、祖先が培ってきたもの、周囲の環境や地の利）等の特徴を活かした工夫が必要。

(2) (1) 以外については、諮問のとおりで差し支えありません。